



# 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月11日

上場取引所 東

上場会社名 武蔵野興業株式会社

コード番号 9635 URL <http://www.musashino-k.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河野 義勝

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 山崎 雄司

TEL 03-3352-1439

四半期報告書提出予定日 平成23年8月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	363	△19.9	35	29.5	31	5.8	31	106.1
23年3月期第1四半期	453	△11.0	27	△59.2	29	△51.5	15	△75.8

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 31百万円 (125.7%) 23年3月期第1四半期 13百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	2.98	—
23年3月期第1四半期	1.45	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	5,931	2,555	43.1	244.10
23年3月期	6,024	2,524	41.9	241.08

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 2,555百万円 23年3月期 2,524百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	650	△23.6	25	—	12	—	10	—	0.95
通期	1,350	△18.7	55	—	30	—	25	—	2.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	10,500,000 株	23年3月期	10,500,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	29,465 株	23年3月期	28,565 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	10,470,802 株	23年3月期1Q	10,472,413 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、平成23年3月の東日本大震災の発生により、電力供給問題などその余波が企業の経済活動に大きな影響を及ぼし、先行き不透明感が拭えない状況のまま推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、映画興行事業部門は、従来よりの個人消費の停滞に加えて震災による集客への影響も否めず低調な成績に推移し、不動産事業部門におきましても、賃貸収入の減少や一部流動化不動産に対する投資配当収入がいまだ留保されていることから前年同期を下回る営業成績となりました。一方、自動車教習事業部門は、原油価格の高騰等のマイナス要因もありましたが、震災による影響も少なく堅調に推移し、商事事業部門においても営業成績に大きな変動はありませんでした。以上のことから売上高は、平成23年3月31日に不採算であった映画館「甲府武蔵野シネマ・ファイブ」とスポーツクラブ「コナミスポーツクラブ自由が丘」を閉鎖した影響もあり、3億6千3百万円（前年同期比19.9%減）となりましたが、前述の不採算事業所閉鎖による収益性の改善や販売費及び一般管理費等経費節減の効果などから、営業利益は3千5百万円（前年同期比29.5%増）、経常利益は3千1百万円（前年同期比5.8%増）、四半期純利益は3千1百万円（前年同期比106.1%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間のセグメント情報ごとの業績の状況は以下の通りであります。

（「生産、受注及び販売の状況」については、当社は映画興行や不動産賃貸業を中心に業態を形成しており、受注・販売形式の営業活動は行っておりません。販売の状況については、下記に示したセグメント情報ごとの業績の状況をご参照ください。）

#### （映画興行事業部門）

新宿武蔵野館で上映した「英国王のスピーチ」や「127時間」といった作品が好稼働したものの、甲府武蔵野シネマ・ファイブ休館に係る売上減や残務諸費用の発生もあり、部門全体の売上高は8千5百万円（前年同期比15.9%減）、セグメント損失は0百万円（前年同期は6百万円のセグメント損失）となりました。

#### （スポーツ・レジャー事業部門）

閉鎖したコナミスポーツクラブ自由が丘の残務諸費用の発生があり、セグメント損失は8百万円（前年同期は8百万円のセグメント損失）となりました。なお、売上高の計上はありませんでした（前年同期は5千5百万円の売上高）。

#### （不動産事業部門）

賃貸部門の入居状況においては大きな変化はなく、また一部流動化不動産に対する投資配当収入もいまだ実施されていないことから、部門全体の売上高は1億1千1百万円（前年同期比14.6%減）、セグメント利益は6千7百万円（前年同期比18.8%減）となりました。

#### （自動車教習事業部門）

震災による大きな影響もなく、卒業シーズンの学生を中心に新規教習生の獲得は堅調に推移し、部門全体の売上高は1億1千1百万円（前年同期比3.1%増）、セグメント利益は3千2百万円（前年同期比18.9%増）となりました。

#### （商事事業部門）

住宅関連資材の売上は震災の影響による市場の停滞から伸び悩んだものの、東京都新宿区のタピオカ入りソフトドリンク販売店の売上は概ね堅調に推移し、その結果、部門全体の売上高は4千7百万円（前年同期比3.6%減）、セグメント利益は5百万円（前年同期比2.9%減）となりました。

#### （その他）

主としてマクミラン・アリスの著作権料収入や自販機手数料等ではありますが、全体として売上高は6百万円（前年同期比17.0%減）、セグメント利益は2百万円（前年同期比33.2%減）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、有利子負債の返済や閉鎖事業所に係るリース債務の残債支払等により流動性預金が減少したことや有形固定資産の減価償却による減少などから、前連結会計年度末に比べ9千3百万円減の59億3千1百万円となりました。

負債合計は、有利子負債の返済を進めたことや、閉鎖事業所に係る未払債務の精算があったことなどから、前連結会計年度末に比べ1億2千4百万円減の33億7千5百万円となりました。

純資産合計は、四半期純利益の計上により、前連結会計年度末に比べ3千1百万円増の25億5千5百万円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の連結業績は概ね当初想定した業績予想の範囲内において推移しております。なお、第2四半期連結会計期間においては、第1四半期連結会計期間に比べ自動車教習事業の売上が減少することを予想に織り込んでおり、また、映画興行事業におきましても、今後の上映作品の集客力の見通しがいまだ不透明であることから、平成23年5月16日に公表いたしました平成24年3月期の第2四半期連結業績予想及び通期連結業績予想の修正はいたしません。なお、今後の見通しにつきましては引続き検討を重ね、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	471,564	396,106
受取手形及び売掛金	46,503	47,779
たな卸資産	1,278	1,206
その他	59,142	60,292
貸倒引当金	△2,161	△1,820
流動資産合計	576,328	503,565
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	666,119	654,295
機械装置及び運搬具(純額)	9,881	9,047
工具、器具及び備品(純額)	35,172	34,422
土地	3,808,775	3,808,775
有形固定資産合計	4,519,948	4,506,541
無形固定資産		
借地権	67,260	67,260
リース資産	6,657	6,181
その他	10,903	10,276
無形固定資産合計	84,820	83,717
投資その他の資産		
投資有価証券	688,919	690,130
長期貸付金	625,816	623,746
敷金及び保証金	26,860	26,860
その他	63,477	54,977
貸倒引当金	△561,360	△557,916
投資その他の資産合計	843,712	837,798
固定資産合計	5,448,480	5,428,057
資産合計	6,024,808	5,931,623

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	65,875	56,926
短期借入金	424,360	404,360
未払法人税等	5,956	1,142
賞与引当金	11,118	15,622
その他	178,060	116,235
流動負債合計	685,370	594,286
固定負債		
長期借入金	642,483	621,393
退職給付引当金	162,277	150,250
役員退職慰労引当金	18,648	18,648
長期預り敷金	544,767	544,797
再評価に係る繰延税金負債	1,438,098	1,438,098
その他	8,743	8,291
固定負債合計	2,815,018	2,781,478
負債合計	3,500,389	3,375,765
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,004,500	1,004,500
利益剰余金	△559,418	△528,213
自己株式	△7,088	△7,198
株主資本合計	437,993	469,087
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,202	△1,858
土地再評価差額金	2,088,628	2,088,628
その他の包括利益累計額合計	2,086,426	2,086,770
純資産合計	2,524,419	2,555,858
負債純資産合計	6,024,808	5,931,623

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	453,105	363,047
売上原価	248,096	169,785
売上総利益	205,009	193,261
販売費及び一般管理費	177,750	157,971
営業利益	27,259	35,289
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,953	534
持分法による投資利益	5,607	2,021
その他	4,091	1,792
営業外収益合計	13,651	4,348
営業外費用		
支払利息	11,110	8,019
その他	16	96
営業外費用合計	11,126	8,116
経常利益	29,784	31,522
特別利益		
貸倒引当金戻入額	319	—
受取保険金	2,937	—
その他	184	—
特別利益合計	3,440	—
特別損失		
減損損失	9,029	—
特別退職金	5,000	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,901	—
その他	162	—
特別損失合計	17,092	—
税金等調整前四半期純利益	16,132	31,522
法人税、住民税及び事業税	992	317
法人税等合計	992	317
少数株主損益調整前四半期純利益	15,140	31,204
四半期純利益	15,140	31,204



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	15,140	31,204
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,162	343
その他の包括利益合計	△1,162	343
四半期包括利益	13,977	31,548
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,977	31,548

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

(セグメント情報)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他	合計
	映画興行事業	スポーツ・レジャー事業	不動産事業	自動車教習事業	商事事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	102,179	55,023	130,314	107,794	49,707	445,017	8,088	453,105
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	17,604	—	—	17,604	—	17,604
計	102,179	55,023	147,918	107,794	49,707	462,621	8,088	470,709
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△6,913	△8,803	82,899	27,426	5,794	100,403	4,138	104,541

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、著作権事業その他であります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	100,403
「その他」の区分の利益	4,138
セグメント間取引消去	70
全社費用(注)	△77,352
四半期連結損益計算書の営業利益	27,259

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他	合計
	映画興行事業	スポーツ・レジャー事業	不動産事業	自動車教習事業	商事事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	85,961	—	111,263	111,176	47,930	356,332	6,714	363,047
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	17,604	—	—	17,604	—	17,604
計	85,961	—	128,867	111,176	47,930	373,936	6,714	380,651
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△1	△8,200	67,298	32,609	5,628	97,335	2,764	100,099

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、著作権事業その他であります。

2. 「スポーツ・レジャー事業」のセグメント損失は、平成23年3月31日に閉鎖した「コナミスポーツクラブ自由が丘」に係る残務諸費用であります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	97,335
「その他」の区分の利益	2,764
セグメント間取引消去	2,051
全社費用(注)	△66,860
四半期連結損益計算書の営業利益	35,289

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (6) 重要な後発事象

該当事項はありません。